

編集室

『13歳のハローワーク』。村上龍さんの話題本です。24歳で芥川賞作品『限りなく透明に近いブルー』（76年）を書いた作家が、フィクションの高みから降りて、そこには数百年の仕事・職種が紹介されています。特集「群像」を取材しながら、約7千人の卒業生それぞれが選んだ職種は？と本に重ねて思いました。驚くほど多様に違いのない旅立ちの情景を。

その村上さんのトーク・イベントが先月、後樂園キャンパスでありました。反語のまじる一筋縄ではいかぬ「作家らしさ」にも感心したので

すが、こんなメッセージが印象に残りました。

「ある仕事で生きていくんだと28歳までに決める。決めたら35歳までにその職種でキャリアを積む。それくらいの目安でいい」

ちよつと気が楽になるでしょう。あるいは留年する人たちも。スペインを長くして、「プロ」をめざしてください。

ハナニアラシノタトエモアルゾは、于武陵の漢詩。というより文豪・井伏鱒二による名訳です。全文をひいて、贈ります。

コノサカズキヲ受ケテクレ
ドウゾナミナミツガシテオクレ
ハナニアラシノタトエモアルゾ
サヨナラダケガ人生ダ

（広報課 田中紘太郎）

Hakumon

Chuo
ちゅうおう

2005

早春号

2005年(平成17年)3月24日発行 No.190

発行 中央大学広報委員会

〒192-0393

東京都八王子市東中野742-1

〈編集担当〉

広報課 ☎0426-74-2146

印刷

泰成印刷株式会社

〒130-0026

東京都墨田区両国3-1-12

☎03-3631-8141